

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	虫コロリノンスモーク霧タイプ
整理番号	AK1201
会社名	アース製薬株式会社
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1
担当部門	開発部
電話番号	03-5207-7464
FAX番号	03-5207-7485
作成/改訂年月日	2011年11月15日 作成 2015年06月01日 最終改訂

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	使用方法、使用量を守れば有害性は極めて低い。
分類の名称	引火性液体（原液）
特定の危険有害性	噴射薬剤を吸入すれば、咳き込むことがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物（不快害虫用全量噴射エアゾール製剤）
成分及び含有量	〔殺虫成分〕 ペルメトリン 殺虫補助&ハウスダスト除去成分（高分子エステル化合物）
	〔噴射剤〕 DME
危険有害成分	ピレスロイド系殺虫剤（ペルメトリン）配合品

4. 応急措置

吸入した場合	噴射薬剤を吸入すると人によっては激しく咳き込むことがある。この咳き込みは一過性であるが、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静に保つこと。呼吸が弱くなっているときは、衣類を弛め、呼吸気道を確保する。嘔吐がある場合は、頭を横向きにし、口からは何も与えてはならない。吐かせようとしてはいけない。そして、本品がピレスロイド系殺虫剤であることを医師に告げて、診療を受けること。
皮膚に付着した場合	実使用上特に問題はないが、アレルギー体質等の人への応急処置としては、汚染された衣類や靴などは速やかに脱ぎ捨てる。薬剤が付着した場合は、水又は微温湯で流しながら石鹸を使ってよく落とすこと。外観に変化が見られたり、痛み等の異変がある場合は、直ちに皮膚科医の診療を受けること。
眼に入った場合	特に問題はない。噴射処理時に眼に入れば、軽度の刺激性を有することがある。応急処置として清浄な水で眼を洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗眼の際、瞼を指で開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄すること。痛み等の異変がある場合は、直ちに眼科医の診療を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	泡（初期火災）、二酸化炭素、粉末
特定の危険有害性	エアゾール製剤であり、着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	特になし
環境に対する注意事項	特になし
除去方法	特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<p>技術的対策</p> <p>○定められた使用方法・使用量を守ること。</p> <p>①本品を部屋の中央に置いてください（直接火災報知機に霧があたらない位置）。ペダルは必ずつま先で踏んでください。缶底に塗ってある透明樹脂はすべり止めです。はがさないでください。</p> <p>②カチッと音がして固定されるまでかかとを浮かし足の指で真上からゆっくりとペダルを踏むか、手で押して作動させてください。薬剤が霧状になって噴射しはじめますので、直ちに部屋から出てください。</p> <p>③本品を噴射した後、1～2時間は部屋を閉め切った状態にしてください。また、この間、入室することを避けてください。</p> <p>※9～12畳あたり1缶使用。</p> <p>※1缶の噴射時間は30～40秒程度。</p>
注意事項	<p>○使用に先立ち、部屋はできるだけ閉めきってください。</p> <p>○皮膚、飲食物、食器、子供のおもちゃ、飼料、衣類などに薬剤がかからないようにしてください。</p> <p>○小鳥などのペット類、観賞植物は換気をするまで部屋の外に出してください。</p> <p>○観賞魚や観賞エビはエアーポンプを止めて完全密封（水槽に覆いをして、ガムテープなどで密閉する）にして使用するか、換気するまで部屋の外に出してください。</p> <p>○故障の原因となるので、パソコン、ワープロ、テレビ（液晶・プラズマ）、ゲーム機器、オーディオ・ビデオ製品などの精密機器にはカバーをかけ、テープ、ディスクなどは箱に収納してください。（大型コンピューターのある部屋では使用しないでください。）</p> <p>○透明なプラスチック製品、家具、カーテンなどに直接薬剤がかかると変色やシミの原因となります。美術品、仏壇仏具、はく製なども薬剤がかからないようにしてください。</p> <p>○ガス漏れ警報器が噴射ガスに反応することがあるので、ポリ袋などで覆いをし、処理後は必ず覆いを取り除いてください。</p> <p>○直接火災報知機に霧があたらない位置で使用してください。霧が直接あたると火災報知器（煙を感知するタイプ）が作動することがあります。</p> <p>○本品は部屋の中央に置き（直接火災報知機に霧があたらない位置）、必ず立てた状態で使用してください。</p> <p>○缶底に塗ってある透明樹脂はすべり止めです。はがさないでください。</p>

安全取扱い注意事項	<p>ペダルは必ずかかとを浮かし、足の指で踏むか、手で押してください。</p> <p>○本品は可燃性ガスを使用していますので、火気には十分注意し、特にガス湯沸器や内釜式浴槽の種火、ヒーターなどは必ず消してガスの元栓は閉めてください。必ず火元がないことを確認してください。</p> <p>○集合住宅などの集中管理方式のガス警報器の場合は、住宅管理者と相談の上使用してください。</p> <p>○ペダルを踏むと同時に薬剤が噴射しますので、部屋の外に出てください。また、ペダルの真上に顔を近づけないでください。</p> <p>○使用後は、部屋を十分に換気してから入室してください。</p> <p>○薬剤が食器などにかかった場合は、水でよく洗ってから使用してください。</p> <p>○捨てるときは、火気のない屋外でペダルを踏み、噴射音が消えるまでガスを抜いてください。</p> <p>○使用後は、小さな虫の死骸などをとり除くため軽く掃除機掛けなどを行ってください。</p> <p>○一般的注意</p> <p>①炎や火気の近くで使用しないこと。</p> <p>②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。</p> <p>③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ、ファンヒーターの近くなど温度が 40 度以上となる所に置かないこと。</p> <p>④火の中に入れていないこと。</p> <p>⑤使い切って捨てること。</p> <p>○アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい体質の人、病人、妊婦、子供は薬剤を吸い込んだり、触れたりしないでください。</p> <p>○退出後、必ず 1 時間以上経過してから入室してください。換気のために入室するとき、薬剤を吸い込むと気分が悪くなったり、咳き込み、嘔吐したり、呼吸が苦しくなることがありますので、薬剤を吸い込まないようにしてください。</p> <p>○人に向かって噴射しないでください。また、薬剤を吸入しないでください。</p> <p>○万一身体に異常が起きた場合は、直ちに添付文書を持って本品がピレスロイド系殺虫剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。</p> <p>○薬剤が皮膚についた場合は、石けんと水でよく洗ってください。また、目に入った場合は、直ちに水で洗い流してください。</p>
保管	<p>特になし</p> <p>○直射日光や火気を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管してください。</p> <p>○缶のさびを防ぐため、水回りや湿気の多い場所に置かないでください。</p> <p>○暖房機器（ファンヒーター等）の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので置かないでください。</p>
技術的対策 適切な保管条件	
混触禁止物質 安全な容器包装材料	<p>特になし</p> <p>情報なし</p>

8. 暴露防止及び保護措置

保護具 特になし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	全量噴射エアゾール剤
色	黄色澄明の液体（殺虫原液）
臭い	特異なおいを有する（殺虫原液）
pH	該当しない
密度（比重）	0.831（20℃）（殺虫原液）
溶媒に対する溶解性	情報なし
物理学的状態が変化する 特定の温度／温度範囲	引火点：14.6℃（殺虫原液）

10. 安定性及び反応性

安定性	情報なし
反応性	反応性なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	急性経口毒性（LD ₅₀ 値：原液） ラット♂：3.8mL/kg（原体からの推定値） 急性経皮毒性（LD ₅₀ 値：原液） ラット♂♀：5mL/kg以上（原体からの推定値）
------	---

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
------	------

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 汚染容器・包装	火気のない屋外で、噴射音が消えるまでガスを抜いてから廃棄すること。 空容器は不燃物として捨てること。キャップ、フィルム等は、各自自治体 で定められた廃棄方法に準じて処理すること。
------------------	---

14. 輸送上の注意

国連番号	1950、クラス 2.1（エアゾール）
輸送の特定の安全対策 及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法	危険物 第四類 第一石油類 非水溶性
PRTR法	ペルメトリン（第1種指定化学物質 政令番号 350号） ただし、本品は一般消費者生活用品であり、PRTR法の対象製品には該当 しません。

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。